

# ワーケーション の効果と導入 する理由

---

一般社団法人日本テレワーク協会

主席研究員

大沢 彰



## ワーケーション の1つの定義

テレワークを活用し、

普段の職場や居住地から離れ、

リゾート地や温泉地、さらには全国の地域で、

仕事を継続しつつ、

その地域ならではの活動を行う

# ワーケーションの類型整理の例

---

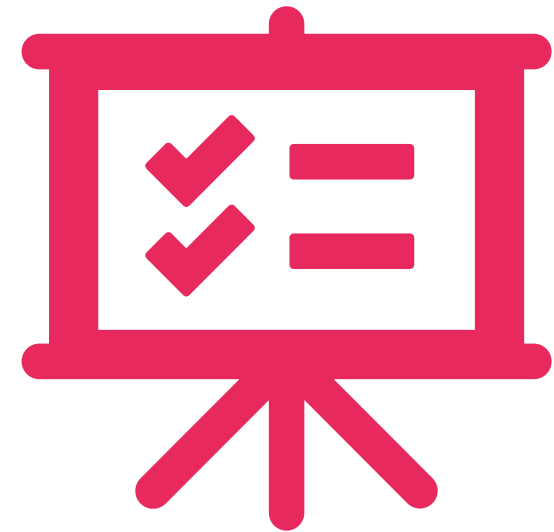
並行型(出張のついでに、休暇中に)、専従型

個人型、組織型

個人型ワーケーション: 並行型。専従型(働く目的、自らの働き方に応じて普段と違う場所を選択)。

組織型ワーケーション

- チーム(知っている人たち)でワーケーション: チームビルディング、開発合宿、事業創造
- 知らない人たちとワーケーション: 研修(能力開発、ネットワーキング)



# 知らない人たちとのワーケーション体験会in北海道編(と和歌山)の効果:参加者間交流

---

1

忖度なきあなたが教えてくれる、自分のいいところ、悪いところ

2

参加者の仕事、趣味の話から新しいアイデアを思いつく

3

参加者の知り合いと、知り合う

4

ワーケーション後の交流

# ワーケーション体験会の効果： ならでは体験と交流

---

インストラクター・講師がくれる新しい知識

参加者の行動、反応から新しい気づき

体験のアウトプットからの気づき



# ワーケーション体験会の効果： 地域コミュニティと交流

---



地元食材持参での懇親会

漁師、農家、工務店経営者などとの交流

学校、学生とのふれあい

東京などでのアフター

# 自治体職員の重要な役割

---

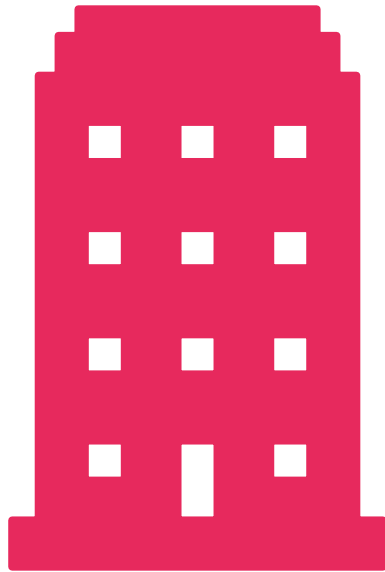
地域コミュニティの形成支援

ワーケーションプログラムのコーディネート

地元にかける熱い思い(いい刺激)

# ワーケーション体験会の効果： 交流を促進する施設の役割

---



テレワーク向け施設

できれば近接した宿泊（コリビング、合宿所）

コミュニティの集まれるところ（炊事して、食べて、話ができる場所）

ならでは体験ができる施設と自然



# ワーケーションの肝の1つは交流 気づき、自律、成長の育成効果を生む

---



# ワーケーション先を選ぶポイント

---

コミュニティの存在（話ができる、相談できる仲間）

---

企業等との交流に双方メリットがあることを理解して、受け入れてくれるコミュニティと自治体

---

例：一般社団法人知床スローワークス（北海道斜里町）、TETAU  
有限責任事業組合・JMAM（和歌山県田辺市、白浜町）

# 組織でワーケーション始め

---

積立職場旅行(半分補助)

観光

宴会

朝ビール

ワーケーション(半分補助)

チーム力研修

事業創造

+健康増進プログラム(温泉、森林浴、ヨガ、、)

地元との交流も

# 従業員をワーケーションに派遣始め

---

選択型研修(一定額補助)

受講(受動)

試験合格・履修終了

資格・終了証

ワーケーションを選択型研修の1メニューに(一定額補助)

達成する成果のコミット(自律)

例:ラーニング型ワーケーションでの成果、ハッカソンなどイベント型ワーケーションでの成果

コミット達成、未達(度合)

達成度に応じた補助

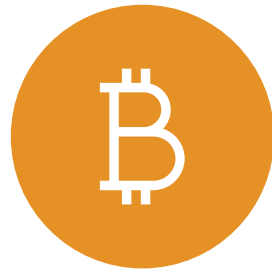
個人が好きな環境で働く、ワーク主体型ワーケーションは?制度的に対応するが全額自己負担?

# 企業等がワーケーションを導入する理由 他社との差別化

---



人材育成



福利厚生・有給  
取得促進



従業員のリテン  
ション効果



採用への効果

並行型を制度上許可することからやってみるのも

# 2020オリパラに合わせてワーケーション

---

日本テレワーク協会では、ワーケーションを予定している企業様との計画を検討中

関心のある企業・団体様からの相談を承ります

日本テレワーク協会ワーケーション運営委員会 [seminar@japan-telework.or.jp](mailto:seminar@japan-telework.or.jp)